

第7回ふるさと文化祭

今回のテーマ

八本松の歴史を知ろう みんなで創る文化祭

大好き！ふるさと八本松

明治27年6月 山陽鉄道開通
明治28年4月 八本松駅開業



八本松八十八石仏の会上映映資料 明治40年代の八本松駅周辺

八本松ふるさと文化祭実行委員会(会長 岩西利文)は10月22日台風21号の接近が心配されるなか八本松地域センターで「第7回八本松ふるさと文化祭」を開催した。この日は悪天候にもかかわらず昨年を少し下回るものの750名と大変多くの方が参加され、大盛況となった。



八本松の歴史を語る石仏の会会長の西田さん(左)

今年「もっと八本松を好きになっただけ」のため、「八本松の歴史を知ろう」と「みんなで創る文化祭」をサブテーマとし、プログラムを工夫。特に今回初めて登場した映像を使っての八本松の歴史解説や歴史クイズでは大人の方でも「そーだったのか」と八本松の理解を深めた。



主催 八本松 八本松ふるさと文化祭実行委員会



八本松太鼓

また、ステージでは邦楽、ダンス、和太鼓等子どもと大人のほほえましい共演が見られ、展示会場でもお茶席や絵手紙・ぬり絵等の実体験、4か所の歴史クイズスタンプラリーを通して参加者と出品者の会話がはずみ、「みんなで創る文化祭」となっていた。



子どもたちとの共演



ステージ



お茶席



スタンプラリー



ぬり絵体験



絵手紙体験

文化祭終了後、岩西会長は「雨の中多くの方に集まっていたいただき感謝する。今後も住民の皆さんがもっと八本松が好きになれるよう工夫を重ねて行きたい。ま



悪天候での作業ありがとうございました (バザー&駐車場)

た、悪天候の中、外でバザーや交通整理に当たっていたいただいたスタッフの方に感謝する」と述べた。

幼い子どもたちには やさしいグラウンドゴルフ教室



平成29年度ゴルフ大会
ファミリー
グラウンド

グラウンドゴルフ大会 ファミリーな好プレー続出

11月13日体育振興部会は大山、八本松南、宗吉地域のグラウンドゴルフ愛好家の皆さんの協力を得て平成29年度グラウンドゴルフファミリー大会を開催。大会は素晴らしい秋晴れに恵まれ、87人(一般の部46人、ファミリーの部41人)

内子ども17人がエントリー)の地域の皆さんが八本松市民グラウンドに集まり和気あいあいとプレーを楽しんだ。

上手な子どもたちには 腕試しの場



1位になった白鷺洲君を見守るお父さん 2位になった村岡君に感心する皆さん 3位になった佐賀さんを見習う妹達

ホールインワンの瞬間は皆笑顔



参加者は、愛好家の皆さんとファミリーの部で参加された子どもたちとその保護者の皆さん混合の10チームを作りプレー。愛好家の皆さんも幼い子どもたちを手取り足取り指導。好プレーにはいつもより大きな拍手とガッツ

ポーズが見られた。上位表彰者は小学生の部で1位白鷺洲くん、2位村岡くん、3位佐賀さん。一般の部で1位木谷さん、2位太田さん、3位蔵野さんがそれぞれ受賞された。

小学生料理教室 「手作りマヨネーズ」& 「野菜クレープ」

対応行事の料理教室が小学校家庭科教室で開催。児童71人が「手作りマヨネーズ」と「野菜クレープ」に挑戦した。料理の凄技が満載で、特に卵の黄身だけをペットボトルに入れる技は保護者の方が積極的。作り方はペットボトルにマヨネーズの材料を少しづつ入れてひたすらシェイクする。この過程は理科の実験そっくりで、子どもたちも色んな方法を編み出して挑戦。お母さんもびっくりされていた。



クレープをパクリ ひたすらシェイク-いろんな方法で 凄技 黄身をペットボトルへ

料理の凄技に挑戦

まるで楽しい理科の実験
10月7日週五日制一
顔で答えてくれた。